

G P A 制度について

本学では、世界的に用いられており、また、日本国内でも一般的になってきた成績評価方式である G P A (Grade Point Average) を導入しています。

1. G P A とは

G P A とは、履修登録した科目毎の成績に対して下表のように G P (Grade Point) を設定し、その科目の単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値のことで、学習状況を総合的に示す指標です。

合否区分	素点	評語	G P
合格	100 点～90 点	秀	4
	89 点～80 点	優	3
	79 点～70 点	良	2
	69 点～60 点	可	1
	—	合格	対象外
不合格	59 点以下	不可	0
	—	欠超	0
	—	不合格	対象外
認定	—	認定	対象外

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目の G P}) \text{ の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

2. G P A の計算例

科目名	単位数 (A)	素点・評語	G P (B)	A×B
AUT 教育入門	2	秀	4	8
キャリア形成 1	1	良	2	2
メカトロニクス	3	8 5	3	9
プログラミング	2	欠超	0	0
プログラミング (再履修して修得した)	2	7 5	2	4
卒業研究	8	合格	—	—
(他大学での修得科目)	2	認定	—	—
G P A 対象科目計	1 0			2 3

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目の G P}) \text{ の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

$$= \frac{23}{10} = 2.30$$

3. GPAの対象としない科目

- ①「認定」又は「合格」、「不合格」の評語により、評価した科目
- ② 自由科目

4. GPA制度の目的

- ①奨学金候補者及び学生表彰の選考の参考データとして利用します。
- ②成績不振の学生をいち早く発見し、適切な指導を行います。
- ③履修登録科目数の自主規制を促し、計画的な履修を促します。
- ④学修状況についての警告または退学勧告の指標として利用します。